

市民社会強化活動支援事業（Pecs） 中間報告会

川崎市中原区の 一軒家型コミュニティスペース 「くるみのおうち」運営事業



2021年5月22日

KURUMI

特例認定NPO法人 くるみー来未

理事長 太田 修嗣

くるみのビジョン・ミッション



【ビジョン】

自閉症スペクトラムに代表される多様な特性のある本人と親の支援を通して、
一人ひとりがその人らしく豊かに生きられる **インクルーシブな社会** を創る

【ミッション】

1. 本人が豊かに生きられるよう **地域で連携** して支援する体制を創る
2. 温かで 居心地の良い **居場所** を、関わる全員で創る
3. 新たな **担い手を増やし**、事業や活動を生み出す
4. 当事者家族の交流の機会を創り、**家族の社会的孤立を防ぐ**

コロナ禍にある当事者・家族の現状

- 行く場所や時間が制限されるストレス ➡行動が荒れる
- 生活リズムの乱れ ➡体調を崩す
- 作業所の時間短縮 ➡稼ぎたくても稼げない
- 小学校でストレスを溜めた級友からいじめに遭う。
- スーパー勤務。一回目の緊急事態宣言で多くの人が押しかけたことにより生活リズムが狂って不眠症になり、休職中。
- 二回目の緊急事態宣言発出に伴い、グループホームからの外出制限がかかる。5月末までは外出が許されていない状態。

昨年度の事業活動（計画vs実績）

短期 アウトカム	アウトプット	20年 4月	20年 5月	20年 6月	20年 7月	20年 8月	20年 9月	20年 10月	20年 11月	20年 12月	21年 1月	21年 2月	21年 3月
くるみのおうち を中心とした 居場所づくり	つながりの場づくり イベント定期実施	計画		▽		▽		▽		▽		▽	
		実績			お弁当づくり	おやじの会		プログラム①	珈琲焙煎				プログラム②
					▼▼▼	▼	▼▼▼	▼	▼▼▼		▼▼▼		▼
						アウトドア	カレー①			カレー②			
お互いに みとめあう 社会づくり	セミナー、研修会、 啓発活動の実施	計画							▽	▽			
		実績					川崎市社協 発達障害講座			その他講演会、研修会等			
							▼▼		▼▼▼				▼
インクルーシヴ な社会をつくる 担い手育成	担い手育成 新たな事業活動 の展開	計画											
		実績				団体説明会	事業相談対応 （個人）	団体説明会		市民活動家 交流会		みんなの学校上映会	
						▼	▼	▼	▼				▼

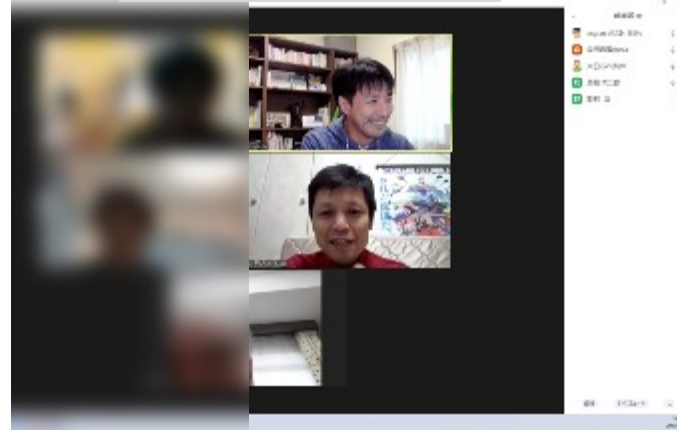
・アンケート結果に基づき、ニーズの高いと思われる事業を優先的に実施。
・いずれの事業も、計画を大きく上回る頻度と内容となった
（緊急事態宣言発出中は自粛、それ以外は対策を万全にした上で）

昨年度実施した事業活動

お弁当づくり



オンラインおやじの会



ドラム缶ピザづくり



みんなでカレーを食べる会



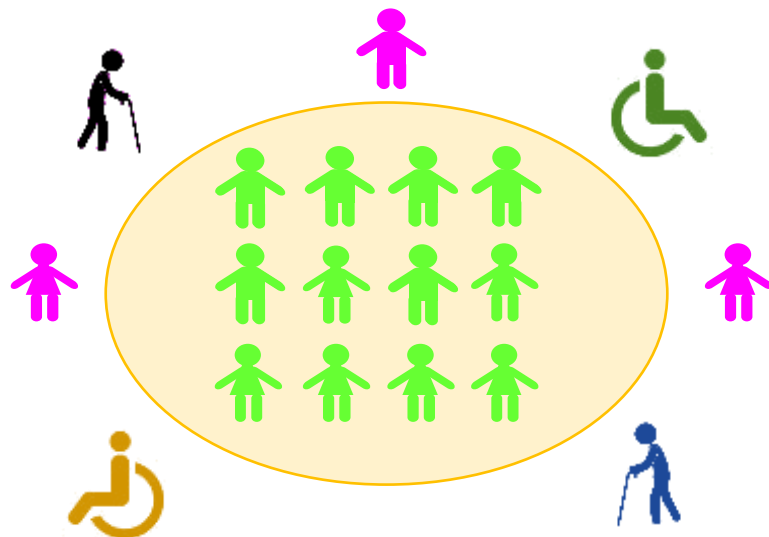
珈琲焙煎講座



プログラミング講座

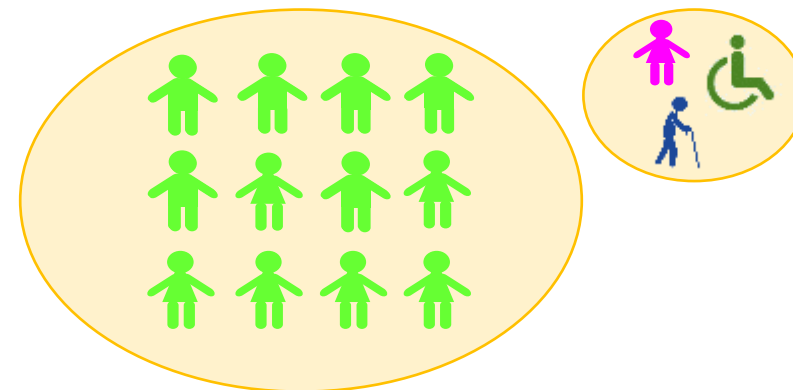


(排除される社会)



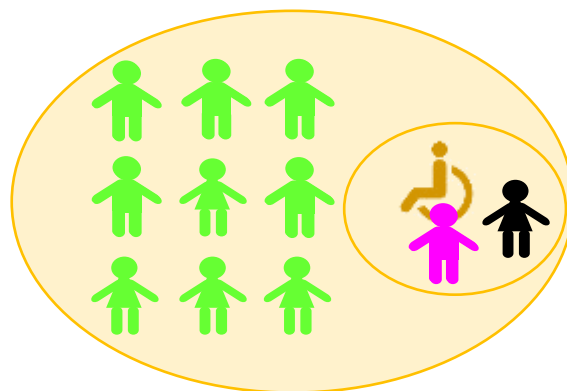
(遠くに分けられる社会)

例 特別支援学校
福祉施設
デイサービス



(近いけれど、壁がある社会)

例 特別支援学級
特例子会社



くるみの目指すもの (まぜこぜで、寛容な社会)

ありのままを
「みとめあう」



Pecs事業一年目をふりかえって

よかったこと

- 参加者のアンケート結果は好評。多くのつながりを生み出し、深める事ができた。
- 事務局雇用、士業家からの専門サポートにより基盤整備を進めることができた。
- 3年先を見据えた中期的な視野で事業を進めることができた。緊急支援枠も◎

くるみから見た課題

- 当事者家族は、もともと育児や介護の負担が大きいところ、コロナ禍により更に負担が増している。
- Pecs事業で求められる事務負担が他と比べて群を抜いて大きく、時間・費用の両面で団体運営を圧迫している。
※詳細はスライド14
- 資金分配団体による伴奏支援のあり方

Pecs事業の事務負担と伴奏支援について

- ① **（課題） 月次ミーティングが、くるみからの一方的な事業報告に近いものとなっている**
（要望） 実行団体も環境変化により苦しい。事業が順調なら2カ月に1回で十分目的は果たせるのではないか。
- ② **（課題） JANPIA指定のExcelフォーム（資金計画書・精算書など）が非常に難解。**
ハンドインプット箇所が多い、急にExcelフォームが変わるなど、大変な苦勞を強いられている。
（要望） 作成がとても難解で、事務負担が大きい。特定の人しか対応できない仕事になってしまっている。
資金分配団体・実行団体双方の事務負担を最小化する形式に改善を希望する。
- ③ **（課題） JANPIA指定のSalesforce画面がとにかく見づらく、使いづらい。**
Excelで提出したものとまったく同じ内容を、Salesforceにもハンドインプットするよう言われる。
四苦八苦して入力していると、ある日突然「マニュアルが変更になった」と送られて来る。
これまで使っていた画面が急に変わってしまい、また一から習熟が必要になる。背景説明も全くない。
（要望） ②と同様、実行団体の事務負担を最小化する形式に改善を希望する。
また、フォーム変更に際しての背景説明は、最低限の礼儀として当然行うべきものではないか。

②③含め、事務作業に費やしたのは、月20時間、人件費：40万/年（これはフォーム改善により半分にできる）
このような状況は休眠預金の無駄遣いであるばかりか、実行団体の事業推進力を削ぐ大問題である。
実行団体が、本分である「国民に向けた社会的価値の発揮」に注力できるような伴奏支援のあり方を検討してほしい。



**自閉症支援を通して、
誰もが暮らしやすい社会づくりに取り組みます。
引き続き、よろしくお願い致します。**

NPO法人くるみ－来未 一同